

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	品川区西五反田 3 - 9 - 9
園名	ぶりすくーる西五反田

1. 活動のテーマ

<テーマ>

空間

<テーマの設定理由>

子どもたち自身のさらなる運動能力の発達を促すために、両足とび、片足立ち等運動機能や平衡感覚、空間的知性を伸ばすため。

2. 活動スケジュール

合計 4 回

内訳：

11 月 1 回【ジャンプ、跨ぐ】、

12 月 1 回【くぐる、跳ぶ】、

1 月 1 回【自由に遊具設定】、

2 月 1 回【自由に遊具設定】)

令和 6 年 11 月から令和 7 年 2 月まで

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

はいはいマット、丸太、エバテム、メッシュトンネル（アーチ型）等により環境設定する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

保育者がはいはいマット、丸太、エバテム、メッシュトンネル（アーチ型）等の遊具を用いて環境設定をし、子どもたちがその遊具を通して色々な身体の動かし方を経験する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

月齢で分けたグループで運動活動を行い、低月齢のグループでは保育者が必要に応じて援助したり、出来た喜びを共感したりすることで「もっと跳びたい」「くまさん歩きしたよ」と自発的に活動に取り組む姿があった。高月齢のグループでは、設定した環境の中で見守ることで友だち同士で倒れた遊具を立て直したり組立てたりする姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保育者の見本の通りに遊ぶ子どもも居れば、クマさん歩きや跳ぶ、跨ぐなどのいろいろな遊び方が見られた。また、遊びの環境設定をする前に子ども達から「ジャンプして遊びたい」「次いつ出すの？」等の自発的な姿が見られた為、日頃の活動計画にも取り入れていきたいと思った。